

5 キャッシュ・フロー計算書について

本市水道事業のキャッシュ・フロー計算書の状況は、次のとおりである。

(単位:千円)

	令和2年度	令和元年度	増減額
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益	626,741	688,545	△ 61,804
減価償却費	1,459,860	1,434,152	25,708
減損損失	35,643	0	35,643
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,197	16,923	△ 13,726
賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 3,017	△ 771	△ 2,246
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 2,565	1,285	△ 3,850
修繕引当金の増減額(△は減少)	△ 79,200	△ 81,092	1,892
長期前受金戻入額	△ 248,503	△ 245,221	△ 3,282
受取利息及び配当金	△ 681	△ 1,380	699
支払利息及び企業債取扱諸費	90,401	98,328	△ 7,927
固定資産除却損	17,271	20,656	△ 3,385
固定資産売却損益(△は益)	0	△ 6,202	6,202
未収金の増減額(△は増加)	306	10,101	△ 9,795
その他流動資産の増減額(△は減少)	0	2	△ 2
未払金の増減額(△は減少)	71,356	△ 10,582	81,938
預り金の増減額(△は減少)	12,288	3,869	8,419
小 計	1,983,097	1,928,613	54,484
利息及び配当金の受領額	628	1,446	△ 818
利息の支払額	△ 90,401	△ 98,328	7,927
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,893,324	1,831,731	61,593
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の払戻収入	0	700,000	△ 700,000
有形固定資産の取得による支出	△ 1,367,293	△ 2,024,911	657,618
有形固定資産の売却による収入	0	7,300	△ 7,300
工事負担金等による収入	224,645	295,066	△ 70,421
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,142,648	△ 1,022,545	△ 120,103
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	750,000	750,000	0
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 860,347	△ 777,445	△ 82,902
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 110,347	△ 27,445	△ 82,902
資金増加額 (又は減少額)	640,329	781,741	△ 141,412
資金期首残高	4,607,887	3,826,146	781,741
資金期末残高	5,248,216	4,607,887	640,329

キャッシュ・フロー計算書では、決算対象期間における現金及び預金の増減状況が、3つの活動区分におけるキャッシュフロー（CF）で表される。

本年度は、企業債の償還額が企業債の借入額を上回ったため、財務活動によるキャッシュ・フローがマイナスとなった。投資活動及び財務活動に支出する資金を、本来の業務活動による資金で調達している。

資金期末残高は、前年度に比べて6億4,032万9千円増加し、52億4,821万6千円となった。